

本誌に連載されていたお話が単行本になります。一冊は、すでに発売されていて、今月号で紹介されました、津守真先生の「保育の一日とその周辺」です。もう一冊は、一月号から五月号に連載されました「倉橋惣三保育法講義録」です。こちらは、近い内に発売される予定です。皆様も、どうぞご一読下さい。

今月から「倉橋惣三「保育法」講義録をよんで」というシリーズで、何人かの先生方に、いろいろな角度から書いていただくことになりました。新教育要領実施にむけて、この倉橋理論を今の保育にどう生かしていくか、更に考えていきたいと思います。

山田洋子先生の「母のイメージ」だんだんおそろしい母が登場してきました。でも、おもしろがったり、こわがったりしてばかりはいられません。私の中にも、このこわーい母の姿に似たものがある

ります。子どもたちの「お母さんにおられるから……」しかたがないから……」という言葉が、ぐざりと私の胸にさざります。そういえば、一方的に命令口調

で、子どもに指図しすぎたかしら、私の目もあんなにつり上がっていたかしら……。気になりながらも、いや、あの子たちには、あれぐらいいいわないとわからないのだ、と思ってみたり、母もゆれていました。

夏から秋にかけては、虫たちが主役の季節です。多摩動物公園昆虫館の高家先生に、身近な昆虫のお話を書いていただきました。虫の世界は、まだまだ不思議なことがたくさんあるようです。

我家の息子は、近くの墓地で蟻の巣をみつめました。小さな蟻でもけっこう力持ちで、大きなお菓子を上手に運んで巣の中へ持って行きます。自分の体の数倍もあるようなものを、一生懸命運びます。この蟻の仕事をじっと見ながら、息子は何を学ぶのでしょうか。

(K)

## 幼児の教育 第八十八巻 第九号

九月号

定価 四一〇円（本体三九八円）

平成元年 八月二十五日 印刷

平成元年 九月一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子

発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

TEL・二九二二七七八一

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
所フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。